

2014年1月24日（金）
生田緑地マネジメント会議資料

ぐるっとガイドツアーについて



(1) 前提条件

<生田緑地及び3館の特性>

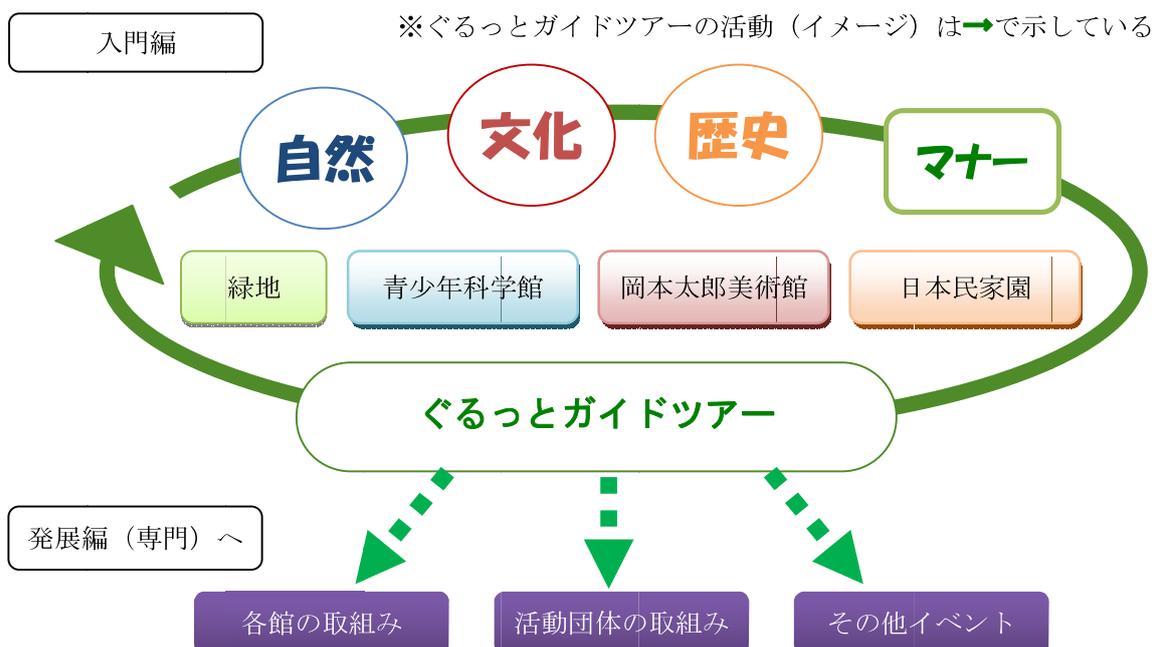
- ・生田緑地には3館ほか様々な魅力的な資源や施設があるが、初心者にとっては敷地が広く、地形も複雑で分かりにくい。初めての利用者や生田緑地にあまり馴染みのない利用者に、これらの情報を提供したり、生田緑地に新たな魅力を伝えていくことは有効である。
- ・様々な活動団体や3館による、それぞれの独自の詳しいガイドについてはこれまでも行なわれているが、生田緑地全体について横断的・包括的に案内するガイドは無かった。
- ・アンケートによると生田緑地のみ利用者は、近くに住み、高頻度で訪れるリピーターが多い。一方、岡本太郎美術館や民家園、科学館のプラネタリウムを目的とする来園者は、市外等の遠方からの人や初めての人が比較的多い。したがって、遠方から来る3館利用者には生田緑地の魅力を、生田緑地を利用する近場のリピーターには3館の多様な楽しみ方を伝えていくことが有効である。

<マネジメント会議（プロジェクト会議）>

- ・ぐるっとガイドツアーは、生田緑地マネジメント会議のプロジェクト会議において検討・実行していくが、現状では会員はそれぞれの活動で忙しいため、当面はJV内にプロジェクトチームを作り、ガイドツアーに参加していただき意見を伺いながら実施し、参加性を徐々に高めていくことが望ましい。
- ・既存のガイドやイベントとの調整を図るために、関係者へのヒアリング等を行いながら企画の内容を検討していく必要がある。

(2) 基本コンセプト

生田緑地と3館の魅力、来園回数の少ない単館利用者や3館の利用回数が少ない緑地リピーターに対して、多様な魅力をわかりやすく伝えて興味を持っていただき、緑地や3館のファンを増やすことを目指す。



<ガイド内容>

- ・案内する内容は、生田緑地及び3館関係者、活動団体、有識者等から情報を収集して、テーマや内容を設定する。また、マナー等の配慮事項等についても整理して伝えていく。
- ・所要時間は2時間程度を想定し、単なる施設ガイドとならないように、来園者が興味を持ちそうな季節の植物等の説明と、3館それぞれにおける特徴的な体験や歴史解説等を組み合わせたメニューとし、ストーリー性のある横断的なガイドを行う。
- ・ガイド（案内人）は細かな解説よりもむしろ、楽しんでもらうためのヒントや豆知識的な話題を提供し、来園者の興味の分野に合わせてコミュニケーションを楽しむように心がける。

<メニュー例>

● 3館のうち1館と季節の植物（緑地）の組み合わせ

- 岡本太郎美術館のバックヤード（要確認）とつつじ山を巡る“裏生田緑地”ツアー
- 生田緑地と民家園の桜の見どころを巡る“お花見満喫”ツアー
- 枳形山展望台と科学館で地形や地域の歴史に迫る“とろーり濃厚プリン”ツアー
- 古民家と谷戸田（緑地内農地）で里山の食と暮らしを体験する“里地里山体験”ツアー

● 3館のうち2館の組み合わせ

- 民家園内古民家の構造や生活の知恵を科学館で科学的に解明する“サイエンス民家”ツアー
- 岡本太郎の作品を美術館で、映像作品をプラネタリウムで観る“暗闇芸術鑑賞”ツアー
- 岡本太郎が影響を受けた縄文土器を古民家内で制作する“タイムスリップ”ツアー

<仕組み>

● 第1段階（平成25～26年度）

- ・まずは、JV関係者がガイドの企画について検討する。
- ・案内人育成のため、勉強会や資料収集、ガイドブックづくりを行っていく。
- ・試験的なツアーを企画し、マネジメント会議メンバーやヒアリング対象者、専修大学課題解決型インターシップ等に呼びかけ、興味がある方に参加していただく。
- ・緑地及び3館（活動団体が実施するものを含む）において行われている、より専門的なイベント等を紹介し、興味の醸成を図っていく。

● 第2段階（平成27年度以降）

- ・ガイド養成システムづくりを進める。
- ・ガイド養成セミナーを開催する。
- ・ガイドツアーの開催を重ねながら、定期的なメニュー（季節の見どころ、歴史や文化・自然など多様なテーマ別）をつくる。
- ・多摩区の観光ボランティアガイド等との連携を進める。

(3) スケジュール

日程	主な内容	補足
実施中	情報収集と勉強会を実施 (JVメンバー)	・生田緑地整備事務所、3館館長等に情報提供・相談
1月 中・下旬	マネジメント会議会員へのヒアリング (事務局)	・マネジメント会議会員への情報提供・参加要請
2月 ～4月	試験ツアーの準備・開催(数回) ・意見の取りまとめ ・基本ルート・説明ポイントの設定 ・勉強会開催(講師:プロジェクト会議会員、その他団体等)	・ツアー内容について検討 ・ツアー内容・説明内容について設定 ・注意事項や利用ルール等の確認と整理 ・歴史等の専門知識の勉強 ・マネジメント会議会員、その他団体等への参加・協力要請(郷土研究家、専修大学課題課題解決型インターシップ等)
5月	ぐるっとガイドツアーの試行 (JVメンバー主体)	・参加者のニーズを確認しながら開催頻度・内容等を調整
春～夏頃	本格始動	